

日本における チェコ文化年

The Year of
Czech Culture

2017



はじめに

日本は、世界的な芸術文化の発信地として、大きな役割を持ち、大変ユニークな一面を持つ国の一つです。日本に住む人ひとりひとりが、また住居や町が、希少で美しい個性を醸し出しています。私は、個人的にも、北海道から沖縄まで、日本全国あらゆる場所に、驚くほど魅力を感じずにはいません。

今回、日本放送協会、NHKプロモーション、国立新美術館、朝日新聞社等のご尽力により、日本において「チェコ文化年2017」が実現できることは、私にとって大変な名誉なことであります。なぜなら、チェコの文化は、私の祖国の文化であるというだけではなく、壮大で、長い歴史を持つヨーロッパ全体の文化を映し出す鏡のようでもあるからです。ヨーロッパの中央に位置するチェコと首都プラハは、東西南北からの影響を受け、それらを融合した、まさにヨーロッパの心臓であると言えます。

日本でチェコの芸術家の作品は非常に馴染みがあります。チェコの大変著名な作曲家、ベドジフ・スメタナやアントニン・ドヴォジャーク、国民的作家であるカレル・チャペック、ヤロスラフ・ハシェック、画家のアルフォンス・ミュシャ、あるいは建築家アントニン・レーモンドなどの作品をご存知の方も多いことでしょう。

チェコ共和国大使館に併設されているチェコセンター東京は、創設より10年以上の歴史を持ちます。定期的にチェコ関連の展示会が行われ、来場者は絶えることがありません。この事は、私にとって非常に嬉しいことであり、また大変光栄に思います。

来年は、チェコ共和国と日本とが、国交回復60周年を迎える記念すべき年でもあります。この機会に開かれる「チェコ文化年2017」が、皆様にとって、多くの新しい芸術上の体験、喜びと感動をもたらすことを心から願っています。

最後になりますが、皆様のチェコ文化へのご関心にあらためて感謝いたします。2017年は私たちと一緒にチェコ文化イベントを盛り上げていきましょう！

駐日チェコ共和国大使
トマーシュ・ドゥプ



ごあいさつ

日本とチェコ共和国の国交回復60周年に当たり、チェコ共和国による「日本におけるチェコ文化年2017」と称した文化行事が開催されます。この度、「日本におけるチェコ文化年2017」名誉委員会の日本側委員長に就任させていただきましたことを、非常に光栄に思います。

チェコは、その長い歴史に根ざした自国の文化を大切にすると同時に、東ヨーロッパ随一の工業国として経済発展を遂げられるなど、伝統と革新が共存する民主主義国家として、国際社会の中で存在感を発揮しておられます。

首都であるプラハの美しく歴史のある街並みは、まるでおとぎ話の世界のようで、毎年、数多くの日本人がチェコを訪問しております。また、著名な作曲家であるスメタナの「わが祖国」やドヴォルザークの「新世界」は、日本人の誰もが耳にしたことがある馴染みのある曲であります。スポーツにおいても、体操競技の金メダリストであるチャスラフスカーさんは、1964年の東京五輪において優美な演技を披露され、「五輪の名花」と呼ばれ、私をはじめとしたすべての日本国民を魅了しました。チャスラフスカーさんは親日家としても知られ、名誉委員会委員にも名を連ねておられますが、本年8月にお亡くなりになられました。誠に残念でありまして、この場を借りて、心からお悔やみを申し上げます。

このたびの文化行事においては、絵画、映画、写真、ファッションなどのさまざまな芸術の展示や音楽の演奏会などが予定されております。その中でも、チェコの著名な画家であるアルフォンス・ミュシャ氏の名作「スラブ叙事詩」が初めて国外に展示されることとなりました。日本人として大変嬉しく思うとともに、チェコ民族とスラブ民族の歴史と伝承、チェコの国としての成り立ちを知る良い機会となると思います。

私は衆議院議長として、議会間交流をはじめ、チェコとの友好親善関係をより一層発展させるため、今後とも力を尽くしてまいりたいと存じます。

結びに、この「チェコ文化年2017」を通じて、両国が相互理解を深め、両国の絆がより一層強固となることを祈念いたします。

日本国衆議院議長

大島理森



ごあいさつ

「チェコ文化年2017」を応援してくださる方々に、このような形で挨拶できますことを誠に光栄に思います。このイベントは、日本とチェコ共和国が長年にわたっている形で培ってきた協力関係を象徴するものです。2017年、日本とチェコは国交回復60周年を祝う機会に恵られますが、これもこの期間に築かれた強い結びつきがあってこそです。まず、経済協力の重要性は、昨今ではいくら強調しても強調しきれないものとなっています。その例として、チェコが日本にとって、最も重要な投資先の一つであるという事実が挙げられます。次に、文化面で二国間に大変豊かな交流があるということ、は、二国関係が非常にレベルの高いものであるということを意味します。友好な二国間の関係があってこそ、日本における「チェコ文化年」が実現できたのだと、私は考えます。この度は、日本という美しい国において、チェコの文化を紹介できる機会を頂き、大変うれしく思います。開催予定のイベントを通して、今まで知らなかったチェコの新たな魅力を発見していただき、またその体験が皆様がチェコを訪問されるきっかけとなれば誠に幸いです。春に展示が予定されているアルフォンス・ミュシャの「スラブ叙事詩」は、チェコの国民的文化遺産であり、今回初めて海外で展示される卓越した絵画作品です。スラブ民族の歴史を描いた大作を是非ご鑑賞ください。

私は、異なる文化を知することは、あらゆる人にとって、他国の人々との理解を深めるものであると確信しています。私は、2015年に公務で日本を訪問する機会に恵まれました。この日本訪問は、今でも強く印象に残っています。国を代表する方々との会談の際やその他の機関を訪問する際に受けた温かな歓迎、そこで行われた二国間の関係発展についての話し合い、色々な意味で賛嘆に値する貴国の美しさを知る機会を得たことで、私の経験はとても豊かなものになりました。中でも広島への訪問は、私の在職中の経験を振り返っても、最も印象に残る思い出の一つです。ここで私は、チェコ人建築家作の原爆ドーム（旧広島県物産陳列館）の遺構の一部の寄贈を受ける式典に参加しました。この寄贈は、このような悲劇が二度と繰り返されないようにするために邁進することを私に決意させました。また、国際的にも影響を与えている、日本の勤勉さや、自国を常に向上させ発展させる努力にも非常に感銘を受けました。

最後になりますが、日本の皆様に「チェコ文化年2017」の枠組みの中で行われる様々な文化イベントを是非楽しんでいただければ、うれしく思います。私は、文化や芸術は相互理解、平和構築のための大変貴重な手段だと思っています。そして、この手段は、昨今ダイナミックに変化し不確実性をも包含するこの時代に必要不可欠なものである、と考えます。

チェコ共和国下院議長
ヤン・ハマーチェク

Jan Hamacek



委員会構成

名誉委員会

名誉委員長

大島理森委員長
(日本国衆議院議長)

ヤン・ハマーチェク委員長
(チェコ共和国下院議長)

委員

黒沼ユリ子
(ヴァイオリニスト)

関根日出男
(チェコ文化・音楽研究家)

ヴェラ・チャースラフスカ
(体操選手・五輪メダリスト) ～追悼して～

ラデク・パボラーク
(ホルン奏者・指揮者)

ラドミル・エリシュカ
(指揮者)

実行委員会

委員長

トマーシュ・ドゥプ
(駐日チェコ共和国大使)

クリスチナ・ラリショヴァー
(チェコ共和国外務省公共外交部部长)

委員

高嶺エヴァ
(チェコセンター東京所長)

渡邊ロマン
(在日チェコ商工会議所 会頭)

チェコ文化年2017関連機関

日本放送協会 (NHK)
NHKプロモーション
株式会社ジャパン・アーツ
朝日新聞社
チェコ共和国外務省
チェコ共和国文化省
プラハ市
チェコセンター
Xantypa誌

日本とチェコの 文化的関係に関する一考察



日本とチェコ共和国との関係は、遠い世界と近い世界、歴史と未来、経済と文化との終わりのない対話のようであり、二国間の交流は世紀を超えて緊密に続き、関わる者の世界を豊かにし、見る者を魅了してきました。

両者の隔たりは、絶えず縮まってきました。二国は文化、技術、文明化の運命を共有し、いくつかの場面では歴史をも分かち合っています。われわれは、程度の差こそあれ日本の武士道に憧れ、また、勇敢さと規律の厳しさを描いた日本のエピソードに息を潜めながら耳を傾けます。また、われわれはチェコの風景を描いた音楽作品を聴き、中央ヨーロッパの運命の縮図のような映画やロマンチックな絵画を鑑賞します。

20世紀初頭に、最初に日本に輸入された車に混じって日本の道路を疾駆したのは、チェコの車でした。21世紀に入ってから、チェコの新繊維製造技術が、日本の企業や大学の技術開発に協力しています。またチェコは、欧州における日本の最も重要な投資先の一つでもあります。一方でチェコの輸出国のひとつが日本であり、日本の技術はチェコ工学の伝統と繋がっています。

日本でチェコ人によって著された書籍の一つに、20世紀初頭に日本に在住し、黎明期の自動車産業に関係のあったチェコ人の手になる道路地図があります。最近では、チェコの現代文学が日本語に翻訳されており、ボフミル・フラバルの『私は英国王に給仕した』（阿部賢一訳）は、日本で出版された作品の一例として挙げることができます。

多くの日本の町では、チェコ人建築家アントニン・レーモンドの作品を見出すことが出来、その建築物はその町の顔の一部となっています。また、広島原爆ドームのメッセージは、ドームの設計者であるチェコ人建築家ヤン・レッツェルの本来の意思を大幅に超え、世界中に平和の意味を問うシンボルになっています。

チェコ文化年の目玉の一つに、アルフォンス・ミュシャの最高傑作「スラブ叙事詩」を展示の中心に据えた『ミュシャ展』があります。この作品がチェコから国外に貸し出されるのは、日本が世界で最初です。日本でも著名なこのチェコ人画家の名前は、フランスでも活躍したことからフランス語読みの「ミュシャ」が一般的ですが、チェコ語では「ムハ」と発音されます。

チェコの作曲家ベドジフ・スメタナの作品の一つは、日本でその題名が忘れられてしまうほどに有名になりました。日本でドイツ語名の「モルダウ」(チェコ語では「ヴルタヴァ」)という名前で知られている曲です。チェコを代表するこの川は、やがて海へと流れ込み、日本の渚とも繋がっています。チェコ文化もこの川と同じように海を越え、日本の皆様に魅了することでしょう。



親愛なる日本の皆様へ

ラトカ・チャースラフスカー

日本における「チェコ文化年2017」の記念冊子刊行にあたり、名誉委員である母、ヴェラ・チャースラフスカーと彼女の日本との関係について短い文章を寄せたいと思います。

彼女はなによりも人々を愛しました。1964年の東京オリンピックの前から日本の方々に魅了され、彼女は人生の最期まで日本を愛し続けました。つい先頃、日本のジャーナリストとのインタビューで、2020年の東京オリンピックに参加するかどうかという質問を受けた彼女は、正直にこう答えました。
「はい。天国からあなた方を見守りますよ。」

母は、日本の皆さんがチェコ文化をとて愛していることをよく知っていましたし、チェコでの日本文化を周知させるために尽力していました。チェコ・フィルハーモニー管弦楽団は、毎年アントニン・ドヴォルザークやベドジフ・スメタナの作品を演奏するために、日本でコンサートを行っています。母は、ブラハで行われた日本映画ウィークや、名誉会長を務めたチェコ日本協会主催のコンサートや書道の集いにも通い、日本の方々との出会いに大きな喜びを感じていました。

チェコ文化年には、日本でミュシャの「スラブ叙事詩」の展覧会が開催されます。母は、2017年がチェコ文化年と知った時から、日本

の方にミュシャのモチーフのマグカップをプレゼントしていました。

国民劇場での母との最期のお別れに、日本から、前チェコ政府観光局長の沖中繁男さんがブラハまでお越しくださいました。日本の代表として、寄せていただきました言葉は、心に響き、感動いたしました。

10月17日、京都からいらした僧侶の方に四十九日の法要をしていただきました。母は最期の最期まで、日本の方に見送られることができました。

日本の皆様は心より感謝いたします。
愛をこめて。



「2017年はチェコ文化年」 によせて —— 黒沼 ユリ子

黒沼 ユリ子

「祖国とは、どんなに小さくても構わない国。文化的に優れてさえいれば。」
あるチェコの友人からこの言葉を聞いた時、私は拍手で賛同しました。
まさに「我が意を得たり」とは、こういう場合に使う言葉なのでしょう。

1958年の晩秋、私はそれまで全く未知の人々の暮らすブラハに初めて降り立ちました。私を結びつけたただ一つの理由「音楽」があったからです。その後そこに暮らしてみても理解できたのがチェコ文化の中に占める「音楽が持つ重み」が、測り知れないものだということでした。何世紀にもわたって大国に自らの国の運命を翻弄され続けたチェコ人たちが、いかに自己を見失わず今日まで生き抜いて来られたかのエネルギーの源泉のひとつが「音楽」にあったのではないかと私は確信するようになったからです。

スメタナは交響詩「わが祖国」に「神話・シャルカ」や「フス戦争」を描く「ターボル」など、チェコ民族の複雑で苦悩に満ちた歴史を見事に音楽で描き残しています。ヤン・フスとは、腐敗したローマ・カトリックを批判して宗教改革を起こし、1415年には火刑に処されたブラハ大学の総長でもあった哲学者ですが、「フス戦争」という歴史的ルーツは今日に至るまで全チェコ人の心の中に「かけがえのない根っこ」としてあるのです。

またドヴォルジャークの作品群は、何と人間的なぬくもりと歓びに満ち、踊るリズムも溢れているが、同時に人生での悲哀も謳っていることでしょう。スメタナは「チェコ人の生命（いのち）は音楽にあり」と言い残しています。そしてドヴォルジャークは「自分は一介の平凡で真面目なチェコ人です」と言いながら、あのように、まさに心の内からほとばしり出たような作品を残し、チェコ人の精神的団結を「音楽」で強めました。

チェコ民族の歴史を少し紐解いただけで、チェコの友人が言う「文化がありさえすれば」という言葉の中には「音楽」がいかに貴重な重みを持って、民族を大切に守って来たかが分かります。

「小さい国でもいい。文化的レベルが高ければ…」というチェコ人の精神は音楽によってさええられ、「音楽があるからこそ」とも言えるのではないのでしょうか。何しろ「チェコ国歌」は、19世紀初頭に作曲された初のチェコ語によるオペラのアリアの一節 Kde domov můj 「我が故郷（ふるさと）よ、いずこ」なのです。チェコ人たちが、いかに自分の文化を大切に守っているかが分かります。

1957年の日本・チェコスロヴァキア国交回復を機に、1958～59年にかけて文化使節として、チェコフィル、スメタナ弦楽四重奏団、スークトリオ、ヤーセク（ヴァイオリン）、ポコルナー（ピアノ）らが来日した。一番印象に残ったのは、抒情と激情を連ねた冒頭の国歌演奏だった。かの国については、チェコ機関銃、ウェーゲナー主演の映画「プラークの大学生」、ナチスに支配されたことや、マラソンの”人間機関車”ザートベク位しか知らなかった。

1962年秋、朝日講堂での「チェコスロヴァキアの夕べ」で、トルンカの「夏の夜の夢」が上映された折、チェコ語講座を知り参加した。講師はカレル大学日本語科卒業生で、会場は代々木の日ソ会館、当初の50人は瞬間に10人になった。私が赤坂に耳鼻咽喉科診療所を開いた1965年からは待合室で、毎木曜夜チャベックの「白死病Bílá nemoc」、ノーベル文学賞詩人、故サイフェルトの回想録「この世に美しきものすべてVšecky krásy světa」などを訳読、この会は四半世紀続いた。生徒にはトルンカの弟子となる人形劇の故川本喜八郎氏、講師には日本語学者の故クロウスキー氏、現美術史家のチハーコヴァー女史らがいた。1968年のソ連軍の侵攻はショックだった。

1974年の「プラハの春音楽祭」で『売られた花嫁』や『イエヌーフ』などを観てから、2004年ブルノでの“ヤナーチェク生誕150周年音楽祭”まで、ほぼ20回かの国へ。

西ポヘミアの温泉地、シュマヴァやホツコ地方、テレジーン収容所跡、シンドラー最後の工場跡（ブルノ北50km）、ムハ生地近くに展示されていた『スラヴ叙事詩』、アウステルリツ三帝会戦忠霊塔、スメタナ、ドヴォジャーク、フィビヒ、マルティヌー、マーラー、フロイドらの生地、ルハチョヴィツェ温泉、民族舞踊祭（ストラージュニツェ、ヴィーホドナー、ヘウパ、チェトヴァ）、タトラ山脈、シューベルトがエステルハーゲン分家に仕えた、南スロヴァキアのジェレゾフツェ、ウクライナ国境スヴィドニーク周辺の木造教会群などを訪ねた。2018年の祖国独立100周年までは、何とか生きのびて祝いたいものだ。



関根 日出男

（医師・チェコ語翻訳家・チェコ音楽研究家）

関根 日出男

2017年に日本全国で開催予定のチェコ関連のイベントをご紹介します。

『チェコ文化年2017』イベントハイライト

EXHIBITION

2016.10.15. SAT. – 2017.2.5. SUN.



スタニスラフ・リベンスキー & ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ展

Stanislav Libenský and Jaroslava Brychtová

1950年代に共同制作を開始したチェコ出身の画家スタニスラフ・リベンスキーと彫刻家ヤロスラヴァ・ブリフトヴァのガラス作品が展示されます。ふたりは世界における現代ガラス芸術を牽引してきました。「光」と「空間」を造形表現に取り入れ、ガラス彫刻から建築に至るまで幅広い活動を展開してきました。光が宿ると美しい陰影が生まれ神聖な存在感を放つ作品。本展覧会では、二人による代表的な彫刻、建築資料、リベンスキーによるドローイングなどが一堂に公開されます。

富山市ガラス美術館（富山県富山市西町5番1号）

【問合せ】TEL 076-461-3100 【HP】<http://toyama-glass-art-museum.jp/>

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.libensky.net/>

EXHIBITION

2016.12.11. SUN. – 2017.2.12. SUN

くらしを彩るアールヌーヴォーの画家 アルフォンス・ミュシャ

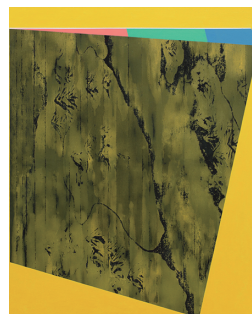
Alfons Mucha, Kure Municipal Museum of Art

19世紀末のパリで、アール・ヌーヴォーの代表的な画家として活躍したアルフォンス・ミュシャ(1860-1939)は、女優サラ・ベルナルを描いた広告ポスターや、当時庶民の間で流行した装飾パネルのデザインなどで一世を風靡しました。本展では、これらのポスターや装飾パネルなどの代表的な作品に加え、本の挿絵や芸術雑誌の表紙、装飾デザインをまとめた図案集のほか、ポストカード、商品パッケージ、切手や紙幣など、当時の人々の暮らしを彩ったミュシャのデザインをご紹介します。

呉市立美術館（呉市幸町入船山公園内）

【問合せ】TEL 0823-25-2007 【HP】<http://www.kure-bi.jp/?cn=100505>

EXHIBITION



アナザー・フィールドーヨゼフ・アフレル / 喜納洋平 展

Another Fields – Youhei Kina and Josef Achrer

チェコ人画家ヨゼフ・アフレル（美術評論家連盟による若い画家のための絵画賞2013年受賞）と日本人画家の喜納洋平による2人展を、チェコセンターとギャラリー人形町ヴィジョンズの2カ所で開催します。

ヨゼフ・アフレルの初期作品は、キャンパスの裏から表へと色彩を押し出して描く技法で制作されています。地球上の地図や質感を思わせるモノトーンに近い色調の作品や、古典的なコンセプトでインクを使用し描いた風景画が多く見られます。別のシリーズでは、幾何学的な抽象や、風景画とのコンビネーションで、まるで建築を思わせるような作品が生まれました。

喜納洋平は、キャンパスを基盤として既製のプリント布をコラージュし、その上に絵の具で描くという技法の作品です。このような絵画の場合、コラージュされたプリント布の絵柄の装飾的な要素と絵の具で描かれた絵画とのコンビネーションによって「人工的な風景」を強調します。両画家の共通点は、空間的な対象として「異なる風景」に焦点を当て、絵画表現をしているという点です。

2016. 12.20. TUE. – 12.24. SAT

ギャラリー人形町ヴィジョンズ

【HP】<http://www.visions.jp/ex/3967.html>

2017. 1.16. WED. – 2.13. MON

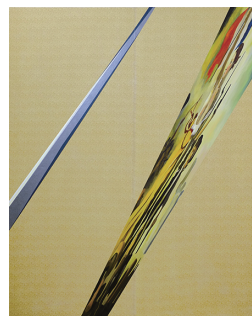
チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【アーティスト詳細（英語）】

Josef Achrer <http://achrer.net/> 喜納洋平 <http://yohei-kina.net/>





飛騨高山美術館 開館20周年記念 特別企画展 アルフォンス・ミュシャ展

Alfons Mucha, Hida Takayama Museum of Arts

テーマは「華ひらく未来」。1997年に開館し2016年で20年を迎えた当館が、開館20周年を記念した特別展です。

20年の歩みを振り返るとともに、21年目への華ひらく未来へのスタートを切る重要な展覧会です。ミュシャがパリで華々しく活躍した時代の作品を約60点展示し、時間のうつりかわりと希望を感じていただく内容となっております。本展は堺市のコレクションの協力を賜り実現いたしました。

飛騨高山美術館 (岐阜県高山市上岡本町1-124-1)

【問合せ】TEL 0577-35-3535

【HP】<http://www.htm-museum.co.jp/>

CONCERT

2017.1.7. SAT. 16:00



松江市 “ノヴィー” コンサート Vol.6 ～チェコの歌姫をむかえて～

Czech Music New Year Concert in Matsue City

島根県松江市の旧田野医院に眠っていた、110年前につくられたチェコのKoch&Korselt製ピアノ。そのピアノは、「ノヴィー」(チェコ語で『新しい』という意味)と名付けられ、皆様のご協力のもと、再生されました。次のステップとして、再生させていただいた「ノヴィー」の活用に取り組んでいます。そして、2017年、再生記念式典でも透き通った歌声を披露いただいた、エヴァ・ミクラスさんのコンサートを開催することになりました。このコンサートは、これからのチェコと松江市の友好の懸け橋となることでしょう。

出演：エヴァ・ミクラス(歌)、横山仁子(ピアノ)、蓮見昭夫(ギター)
主催：NPO法人松江サードプレイス研究会 ノヴィー・プロジェクト
後援/松江市、松江市教育委員会、チェコセンター東京、松江市文化協会

興雲閣 2階 大広間 (島根県松江市殿町1番地59 松江城山公園内)

【問合せ】TEL 0852-61-2100

ノヴィー再生プロジェクトに関しては下記HPをご参照ください。

【HP】<http://www.lovelynovy.com/>

CONCERT



チェコ国立室内管弦楽団 パルドビツェ ジャパンツアー 2017

The Czech Chamber Philharmonic Orchestra Pardubice Japan tour in 2017

チェコ有数のオーケストラの一つ、パルドビツェの全国ツアー。国立プロオーケストラとして定期演奏のみならず、各地で多くのコンサートを行いチェコ国内だけでなく、欧州でも高い評価を得ています。2017年は日本全国を巡回し、その美しい演奏を披露します。

【アーティスト詳細 (英語)】<http://www.kfpar.cz/?lang=en>

2017.1.28. SAT. 14:00 アルカス佐世保 【問合せ】TEL 0957-50-1418

2017.1.29. SUN. 14:00 長崎ブリックホール 【問合せ】TEL 0957-50-1418

2017.1.30. MON. 18:30 読早文化会館 【問合せ】ベルカントジャパン合同会社 TEL 042-325-3325

2017.2.1. WED. 19:00 東京オペラシティ 【問合せ】ベルカントジャパン合同会社 TEL 042-325-3325

2017.2.3. FRI. 14:00 横浜みなとみらいホール 【問合せ】ベルカントジャパン合同会社 TEL 042-325-3325

CONCERT



チェコ・フィル・ストリング・カルテット

Czech Philharmonic String Quartet

名門チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の主要メンバーにより1992年に結成。“弦の国”の伝統を支える名手たちが懐かしのクラシックからビートルズまで、珠玉の名曲20曲を揃えてお贈りします。この機会をぜひお聴きのがしなく！

出演者：マクダレーナ・マシュラニョヴァー (ヴァイオリン) ミラン・ヴァウジーネク (ヴァイオリン) ヤン・シモン (ヴィオラ) ヨゼフ・シュパチュク (チェロ)

【招聘】メロス・アーツ・マネジメント TEL 03-3358-9005

【HP】<http://www.melosarts.jp/melos-arts/>

2017.1.28. SAT. 14:00 上越文化会館大ホール 【問合せ】同ホール TEL 025-522-8800

2017.1.29. SUN. 14:00 新発田市民文化会館 【問合せ】同ホール TEL 0254-26-1576

2017.1.31. TUE. 18:30 札幌コンサートホールKITARA大ホール 【問合せ】キョードー札幌 TEL 011-221-0144

2017.2.1. WED. 18:30 釧路市生涯学習センター大ホール 【問合せ】同ホール TEL 0154-41-8181

2017.2.3. FRI. 19:00 京都コンサートホール大ホール 【問合せ】エラート音楽事務所 TEL 075-751-0617

2017.2.4. STA. 14:00 米原市民交流プラザ・ルッチプラザ 【問合せ】同ホール TEL 0749-55-4550

2017.2.5. SUN. 15:00 武豊町公民館・ゆめたろうプラザ響きホール 【問合せ】同ホール TEL 0569-74-1211

FASHION SHOW

2017.1.31. TUE.



「日本 静かなる力」(ファッションショー)

Japan - Quiet strength

2015年6月にチェコと日本のファッション交流の第一歩である、チェコ国立ブラハ応用美術大学の服飾デザイン科の学生が「ファッション・アイコン・リサイタル」というプロジェクトで初来日し、小杉早苗教授の協力で、チェコセンター東京で初めての展覧会が開催されました。

そして今年、学生たちは日本について徹底的に学び、そこから得たインスピレーションを服で表現しました。その作品が、知名度もメディアからの注目度も高い、文化ファッション大学院大学によるファッション・ウィークに参加することが決定しました。

共催：文化服装学院/チェコ国立ブラハ応用美術大学
指導：リビエナ・ロホヴァー (チェコ国立ブラハ応用美術大学デザイナー)

文化ファッション大学院大学 (東京都渋谷区代々木3-22-1)

【問合せ】TEL 03-3299-2701 【HP】<http://bfgu-bunka.ac.jp/>



PRESENTATION

2017.2.3. FRI.



「日本 静かなる力」(プレゼンテーション)

Japan - Quiet strength

文化ファッション大学院大学で行われるファッション・ウィークに参加した、チェコ国立ブラハ応用美術大学の学生たちの作品が、チェコ大使館内のホールに展示され、学生たちがプレゼンテーションを行います。各学生が日本文化からのインスピレーションを服で表現しました。チェコファッションの最先端をご覧いただける貴重な機会です。

チェコ共和国大使館 ホール (東京都渋谷区広尾2-16-14)

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【大学詳細】<https://www.umprum.cz/>



チェコ国立国軍オンドラーシュ民族音楽舞踊団 日本ツアー 2017

Military Artistic Ensemble Ondráš Japan Tour 201

チェコ国立オンドラーシュ民族アンサンブルはチェコ国軍(空軍)に属するプロフェッショナル国立舞踊団です。団員の半数は18歳から22歳までの各地の民族アンサンブルから集まった精鋭若者です。その中の数人は次年度以降も残り、半数は職業芸術軍人となります。チェコ、モラビア、シレジア地方を中心に、バラエティに富んだプログラムで、年間180近い公演を行っています。明るく軽快なポルカの音楽で元気いっぱいの若者がチェコ民族の真髄をさわやかに展開します。日本各地で28公演を行い、ワークショップや講習会が開かれる予定です。

【問合せ】株式会社 フォークロールレポート TEL 042-679-3837
※詳しい日程は下記HPにてご確認ください。
【HP】<http://www.folklor.com/ensembles/2017ondras/index.html>
【アーティスト詳細】<http://www.vusondras.cz/>

日本チェコ友好協会主催 特別講演会 「アルフォンス・ムハとスラヴ主義」

Japan Czech Friendship Association "Alphonse Mucha and Slavism"

2017年3月8日より新国立美術館で「スラヴ叙事詩」全20点を含むアルフォンス・ムハの展覧会が開催されます。これを記念し日本チェコ友好協会ではチェコを中心とする中東欧文学の第一人者である東京大学准教授、阿部賢一先生による「アルフォンス・ムハとスラヴ主義」と題する特別講演会を開催いたします。会員はもとより、今回の展覧会を楽しみにされているムハ（ミュシャ）のファンの皆様にも拝聴をお勧めいたします。

芸術家の家（協会事務所1階 目黒駅徒歩7分）

【問合せ】日本チェコ友好協会 czfriend@outlook.jp TEL 090-3426-2347

【HP】<http://www.czechfriend.jp/>

ドキュメンタリー映画特集 ヘレナ・トゥジェシュチーコヴァー

Czech Documentary films by Helena Třeštíková



1975年から60本以上の映画を撮り続けているチェコのドキュメンタリー監督特集。トゥジェシュチーコヴァーは、長期にわたり、人間の運命を観察し続けてきました。2007年には、短期間ではありますが、文化大臣を担当しました。『René』という作品では、グランプリアルテ2008にてヨーロッパ映画アカデミー賞（EFA）を受賞しました。今回の来日では、自身の作品を監督本人が自ら、紹介する大変貴重な機会となります。
*映画はすべて本編チェコ語、英語字幕付きです。

チェコ共和国大使館 映写室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.produkcestrestikova.cz/>



2017.2.9. THU.
『Mallory』

13年間にわたって、重度の薬物中毒を克服していく女性を追ったドキュメンタリー。一度はホームレスになってしまうが、更生し普通の生活に必死に戻るという女性の運命を描きます。更正していく中で、世の中のエッジ（端）に住む人々を支援する彼女の姿には心を打たれます。この映画は、誰もがあなたの人生を変えることが出来るという希望を教えてください。



2017.2.14. TUE.
『Doomed Beauty』

リダ・パロヴァは若く魅力的な女優として1940年代にチェコスロヴァキアとドイツで多数の映画に出演し一躍、映画スターになります。彼女は第2次世界大戦中、ナチスドイツの宣伝大臣、ゲッベルスの恋人となり、この事実は世間を賑わすスキャンダルに発展しました。古代悲劇をモチーフに破壊的な愛の物語とスターの座から落ちた女性の孤独像を映し出します。



2017.2.16. THU.
『Private Universe』

1970年から37年間、チェコの家族の歴史をたどるドキュメンタリー映画。歴史的な出来事の背景に、「プライベートな空間」に主に焦点を当てた、弾圧の時代に生きた人々の物語です。静かな家庭生活、子どもの誕生から成長、人間の生活のユニークさと華やかさを描きます。

スーク室内オーケストラ 日本公演 2017

Suk Chamber Orchestra in Japan

スーク室内オーケストラは、作曲家のヨセフ・スーク（1874-1935）にちなみ、その生誕100周年となる1974年に結成されました。2000年までは作曲家の孫にあたるヴァイオリニストのヨセフ・スークが芸術監督を務め、現在はコンサート・マスターのマルティン・コスがその任を引き継いでいます。レパートリーはバロックから現代に至る音楽史上の各時代を網羅。結成以来30年、クラシック音楽におけるチェコの代表として世界中で演奏しています。

出演：スーク室内オーケストラ、共演：千住真理子（ヴァイオリン）

主催：ジャパン・アーツ 問合せ：ジャパン・アーツびあコールセンター

【問合せ】ジャパン・アーツびあコールセンター TEL 03-5774-3040

【アーティスト詳細（英語）】http://www.suk-ch-o.cz/index_en.php?mod=osko_en

2017.2.12. SUN. ザ・シンフォニーホール（大阪）

2017.2.14. TUE. 横浜みなとみらいホール

2017.2.15. WED. オペラシティ コンサートホール



チェコ＝日本ビジュアルプロジェクト「私たちのなかの世界」

Czech-Japanese art project "Worlds in us ..."

ホルニー・ポチェルニツェ芸術初等学校の生徒による、日本のイメージを取り入れた優れた絵画作品の展示。本プロジェクトは、相手の町（国）のイメージを美術で表現することにより、チェコ共和国と日本の子どもたちにひらめきや刺激を与えることを目指しています。両国のパートナー校が互いに描いた絵を交換し合い、相手の国で展示します。プロジェクトの最終目標は、二国間の文化交流の支援と強化です。

チェコ共和国大使館／在チェコ共和国日本国大使館／ホルニー・ポチェルニツェ芸術初等学校／東京女学館小学校 共催

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

※東京女学館でも2/18,19展示予定



写真展「MY NEW LIFE」

MY NEW LIFE

世界共通の大きな課題でもある病・がんにかかった幼い子どもたちをどのようにサポートすれば、患者本人をはじめ家族やその周囲の人々に前向きになってもらうことができるかーチェコの小児がん治療現場でこの問題に日々取り組んでいるルツィエ・ツィングロショヴァー腫瘍学博士の発案のもと小児がん患者たちの姿を写した写真展「MY NEW LIFE」を2015年に象の鼻テラス（横浜）、チェコセンター東京（広尾）、スパイラル（表参道）、また2016年に国立成育医療研究センターで展示いたしました。

それに続き「国際小児がんデー」に合わせて2017年2月15日より埼玉県立小児医療センターでも開催いたします。現地で展示を行った際には、チェコ国営テレビなど国内外メディアで多数取り上げられ、多くの著名人が来場・後援し、大きな関心が寄せられました。カミラ・ベルンドルフォヴァーが撮影し、子どもたちの様々な場面を写した作品は「MODELING」・「AT HOME WITH FAMILY」・「PAINTING DAY」・「CAMP」・「DREAMS AND PASSIONS」の5つのテーマで構成されています。

埼玉県立小児医療センター（埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込2100番地）

【問合せ】TEL 048-758-1811

【HP】<https://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/>

【プロジェクト詳細（英語）】<http://www.projektmujnovyzyvot.cz/en/>



『憲章 77』 40周年記念講演会

Petr Blažek - Charter 77 - the step out of grey

憲章77は現代チェコ史の中で最も重要な出来事の一つです。1968年の「プラハの春」事件から約10年が経とうとしていた1977年、正常化体制下の人権抑圧に対する抗議、フサーク指導部が批准したヘルシンキ宣言の人権条項の順守を求める文書が作成されました。共産主義独裁政権の29年後、当局の人権の弾圧があったにもかかわらず、多くの署名を集め、憲章77が生まれました。発起人には、後に大統領になる、ヴァーツラフ・ハヴェルもいました。この出来事から40周年を記念して、ベトル・ブラジェク博士(1973年生)が来日します。歴史家、全体主義体制研究所教授。多くの書籍、研究発表を行っており、チェコにおいて、憲章77の大規模な展覧会を牽引しました。来日を記念し、講演会を開催します。モデレーターは東京外国語大学総合国際学研究院、篠原琢教授が行います。

チェコ共和国大使館 映写室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【講師詳細（英語）】<http://www.ustrcr.cz/cs/petr-blazek>



「政治・社会・文化的な文脈から生み出された チェコと日本の近現代美術」 講演会

The Politics of the Social in Czech and Japanese contemporary art practice

2月中旬に東京森美術館で開かれる予定の国際シンポジウム「新しい『学び』の場としての現代美術館：エデュケーションからラーニング」に参加するTATE MUSEUMのパブリック・プログラム・キュレーター、サンドラ・シーコロヴァによる講演会です。政治的、社会的、文化的に異なった背景から生まれた、チェコと日本の現代アーティストの作品の違い、共通点、意味合いなどをグローバルな観点から考えます。

チェコ共和国大使館 映写室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

「アルフォンス・ミュシャ展」防府市地域交流センターアスピラート

Alfonse Mucha at Aspirante Hall in Hofu city

アルフォンス・ミュシャ（ミュシャはフランス語表記、チェコ語はムハ。1860～1939）は、オーストリア帝国に属していたチェコに生まれ、幼い時より絵を描き続け、近隣の領主エゴン伯爵にその才能を認められ、1887年、伯爵の援助を受け、パリに美術留学しました。しかし突如、援助を打ち切られたために、挿絵などを描いて生計を立てざるを得なくなりました。

1894年の暮れ、女優サラ・ベルナルが主演する正月公演のポスターの依頼を受け、短期間でポスター《ジスモンダ》を制作、このポスターは圧倒的な人気を博し、ミュシャは無名の挿絵画家から一躍、デザイン界のスターとなりました。その後、サラの芝居のポスターをはじめ、菓子、香水、自転車、旅行などの広告ポスターや装飾パネル、さらに豪華本の挿絵などを次々に制作、1900年にはパリ万国博覧会でも注目を集め、アル・ヌーヴォーの旗手としての地位を不動のものとししました。

1910年、パリでの栄光を捨て故郷チェコに帰り、スラヴ民族・文化に関わる作品に取り組み、そして、1918年独立を果たしたチェコスロヴァキアの国家行事のポスター、紙幣、切手などのデザインを次々に手がけました。

本展では、代表作《ジスモンダ》（アメリカンツアー、1895年）をはじめ、ポスターから、装飾パネル、本の挿絵、雑誌の表紙、ポストカード、切手、紙幣に至るまでミュシャの制作活動の全容を紹介します。

防府市制施行80周年記念／チェコ文化年事業

主催：（公財）防府市文化振興財団、アスピラート（防府市地域交流センター）

防府市地域交流センターアスピラート 2F展示ホール（山口県防府市戎町1-1-28）

【問合せ】TEL 0835-26-5151 【HP】<http://www.c-able.ne.jp/~aspi-111/>



ヤルミラ・ムハ・プロツコヴァーによる ジュエリー展覧会

Decorative objects and Jewellery by Jarmila Mucha Plocková

画家、アルフォンス・ミュシャの孫にあたるヤルミラ・ムハ・プロツコヴァーは、プラハとパルセロナの美術学校で建築とデザインを学びました。1988年に祖父であるアルフォンス・ミュシャが手掛けたジュエリー、花器、小物のデザインに対する独占権利を相続しました。作家にとって最も大きなインスピレーションの源になったのは工芸美術学校の学生が、工芸品の装飾に使った、1902年にパリで出版されたアルフォンス・ミュシャの集大成Documents Décoratifsですが、それに作家自身の感覚を加え、ユニークな食器、カトラリー、花器などのコレクションが生まれました。さらに、このコレクションに、金や銀の半貴石や、七宝焼きを施したジュエリーが加わりました。花、またその他のオーナメントなどの模様が施され、中でも、「マルシュカ」と名付けられたネックレスの美しさは格別です。このネックレスは、ミュシャが自分の妻（作家の祖母）に贈る結婚式に飾るジュエリーの案として、デザインしたものです。多くのモチーフは、ミュシャがサラ・ベルナルのために描いたポスターや、パリの宝石屋、ジョールジュ・フーケ、プラハ市民会館の市長ホールなどの装飾からインスピレーションを得ています。本展では、作家の作品の全体図とともに、オリジナルのデザイン案をご覧いただけます。

協力: 株式会社明和セールス キュレーター：ヴラスト・チハーコヴァー

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.muchaplockova.com/>



国立新美術館開館 10 周年・チェコ文化年事業 ミュシャ展 《スラヴ叙事詩》

Alfons Mucha, The National Art Center, Tokyo

アル・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ（ムハ）の展覧会は日本におけるチェコ文化年の目玉イベントです。チェコ国外では世界で初めて超大作《スラヴ叙事詩》全20点をまとめて公開します。プラハ市のために描かれ、1928年に寄贈されたスラヴ叙事詩は、1960年以降、モラヴィアのクルムロフ城にて夏季のみ公開されているものの、ほとんど人の目に触れることがありませんでした。その幻の傑作が、80年以上の時を経て2012年についてプラハ国立美術館にて全作品が公開されました。そしてこのたび、国立新美術館では、パリで活躍したミュシャがスラヴ叙事詩を描くに至るまでの足跡を約100点の作品を通じて辿りつつ、これら幻の最高傑作の全貌を一挙紹介されます。

国立新美術館／プラハ市／プラハ市立美術館／NHK／NHKプロモーション／朝日新聞社

国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）

【問合せ】TEL 03-5777-8600 【HP】<http://www.mucha2017.jp/>



スメタナ・リトミシュル会 2017年日本チェコ交流記念年コンサート

Smetana Litomyšl Association Concert in Matsumoto

スメタナの出身地、チェコのリトミシュル市と姉妹都市である松本市で、日本チェコ文化交流記念として、コンサートが開催されます。二都市にはお城があり、音楽、芸術、教育ともに熱心な市です。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を行っている、リトミシュル出身のオルガン奏者、ルツィエ・ジャコヴァを迎えます。

主催：スメタナ・リトミシュル会 演奏者：ルツィエ・ジャコヴァ

共演：川越聡子（東京芸術劇場専属オルガン副奏者）

松本音楽文化ホール（長野県松本市島内4351）

【問合せ】TEL 0263-47-2004

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.luciezakova.com/>

CONCERT

2017.3.9. THU. 19:00

プラハ交響楽団 六重奏団公演

Prague Symphony Sextet Orchestra

1934年にFOK交響楽団として設立。FOKとはFilm-Opera-Koncertの略で、設立当初は映画音楽を中心的に行っていました。1952年にプラハ市公認のオーケストラとなり、現在の楽団名に至ります。来日に合わせて、彼らの貴重なコンサートがチェコ大使館ホールにて開催されます。

チェコ大使館 ホール（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【アーティスト詳細（英語）】<http://www.fok.cz/en/>

CONCERT



ラドミル・エリシュカ来日公演

Radomil Eliška in Japan

エリシュカ氏はチェコ出身の指揮者。たびたび来日し、積極的に日本のオーケストラと共演しています。来春には86歳を迎えるチェコの巨匠エリシュカの公演をぜひお聴き逃しなく。2008年4月から札幌交響楽団首席客演指揮者（2015年から名誉指揮者）を務めています。

【アーティスト詳細（英語）】

https://en.wikipedia.org/wiki/Radomil_Eliška

2017.3.10. FRI. 19:00 / 2017.3.11. SAT. 14:00 札幌交響楽団 第597回定期演奏会

札幌コンサートホールKitara 【問合せ】札幌交響楽団 TEL 011-520-1771

2017.3.14. TUE. 19:00 札幌交響楽団 東京公演2017

東京芸術劇場 コンサートホール 【問合せ】札幌交響楽団 TEL 011-520-1771

2017.10.19. THU. 19:00 / 2017.10.20. FRI. 19:00 大阪フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会 大阪

フェスティバルホール 【問合せ】大阪フィルハーモニー交響楽団 TEL 06-6656-7701

2017.10.27. FRI. 19:00 / 2017.10.28. SAT. 14:00 札幌交響楽団 第604回定期演奏会

札幌コンサートホールKitara 【問合せ】札幌交響楽団 TEL 011-520-1771

CONCERT

2017.3.14. TUE. 19:00

京都・プラハ姉妹都市提携20周年記念事業 プラハ交響楽団コンサート

Kyoto Prague Sister City 20th Anniversary Prague Symphony Orchestra Concert

京都市とプラハ市の姉妹都市提携20周年を記念して、プラハ市の誇る、プラハ交響楽団のフルオーケストラコンサートが開催されます。

主催：京都市、プラハ市、京都・プラハ姉妹都市提携20周年記念事業実行委員会

共催：京都コンサートホール（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

京都コンサートホール 大ホール（京都市左京区下鴨半木町1番地の26）

【問合せ】京都コンサートホール TEL 075-711-3231

【HP】<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000207581.html>

CONCERT



プラハ交響楽団 日本公演

Prague Symphony Orchestra

ベトル・アルトリヒテルが指揮を執り、チェコの作曲家、スメタナの交響詩「わが祖国」を演奏します。チェコの名匠と名門オーケストラによる、深い詩情で奏でる祖国への熱い思い。お聴き逃しなく！

主催：ジャパン・アーツびあ

2017.3.15. WED. 19:00 愛知県芸術劇場コンサートホール【問合せ】テレビ愛知事業部 TEL 052-243-8600

2017.3.16. THU. 19:00 東京芸術劇場コンサートホール【問合せ】ジャパン・アーツびあ TEL 03-5774-3040

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.fok.cz/en/>

CONCERT

伝統あるチェコの室内楽の響き 〜ザ・チェコ・トリオ コンサート〜

The Czech Trio in Gifu

世界的に有名な音楽家「ザ・チェコ・トリオ」が、財団法人岐阜県教育文化財団主催「ぎふ・プラハ音楽院セミナー」と岐阜県チェコ友好協会主催「プラハ音楽院セミナー」で来岐します。チェコの伝統ある室内楽を楽しんで頂き、愛好家が増えることを目的としています。13歳以上の方を対象にチェロセミナーを開催。世界的チェリスト（ミロシュ・ペトラージュ）のレッスンを提供します。

主催：岐阜県チェコ友好協会

コンサート：2017.3.18. SAT. 14:30- サラマンカホール（岐阜市藪田南5-14-53-4）

セミナー：2017.3.19. SUN. - 20. MON. 午前・午後（岐阜市金園町2-4希望ヶ丘テラス）

【問合せ】岐阜県チェコ友好協会 TEL 0584-263-0702

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.czechtrio.cz/english/>

FILM



ダヴィッド・オンドゥジーチェック 監督作品 映画上映

David Ondříček - Director and Producer

オンドゥジーチェックはプラハ芸術アカデミー映画テレビ学校（略称：FAMU）を卒業しました。監督としての20年間のキャリアの中で国際映画祭にて、いくつかの賞を受賞し、チェコ国内で多くの観客動員数を獲得しました。今回の来日では、監督本人が、自身の作品をご紹介します大変貴重な機会となります。*映画はすべて本編チェコ語、英語字幕付きです。

チェコ共和国大使館 映写室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【アーティスト詳細（英語）】<http://www.imdb.com/name/nm0648576/>

2017.3.28. TUE. 『Anthropoid』（2016）

第二次世界大戦中の軍事作戦の「類人猿作戦」の遂行とその顛末。作戦遂行以降の悲劇に大幅な時間を割き、計画成功による報復としての大虐殺を描く。ナチスの保護領になったチェコスロヴァキアに副総督として乗り込んだのは、ラインハルト・ハイドリヒ。ヒトラーとヒムラーに次ぐ第三の最も重要な男だった。「ドイツ化」を恐れたロンドンのチェコスロヴァキア亡命政府は、ハイドリヒの暗殺を決定する。1941年の暮、チェコスロヴァキア亡命政府は二人の特殊工作員を英国の空軍機でチェコに送り込んだ。この暗殺のコードネームは『アンソロポイド』（類人猿）計画だった。



2017.3.31. FRI. 『In the Shadow』（2012）

1950年代のチェコスロヴァキアが舞台の犯罪サスペンス。ハクルは宝石店で起こった強盗事件を調査していた。一見、何の変哲もない事件に見えていたものが、徐々に政治的なスキャンダルなどに関わる暗い闇を伴ってくる。彼は真実を見つけるため、正義にひとりで立ち向かう。何もかも、誰一人も信じることができない。犠牲者が犯罪者に、犯罪者が英雄にもなりえる。暗い影(stin)や弱点を誰しもが併せ持つのだ。



FILM



マーサ・イソヴァー 主演映画上映会

Czech Film Screening: Martha Issová

マーサ・イソヴァーはチェコで最も人気のある女優のひとりです。数多くの映画や舞台での彼女の魅力的な演技は高く評価されています。今回の来日では、主演映画である、『Sedmero krkavců』を女優本人が紹介します。*映画はすべて本編チェコ語、英語字幕付きです。

チェコ共和国大使館 映写室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【アーティスト詳細（英語）】

https://en.wikipedia.org/wiki/Martha_Issov%C3%A1

2017.4.6. THU. 『The Seven Ravens』（2015）

チェコの古典でもあるボジェナ・ニェムツォヴァーのおとぎ話「七羽のからす」に基づくストーリー。女の子は自分の兄を助け、呪いを解くために旅にでる。勇気と冒険、真理と真実の愛の物語です。



EXHIBITION

2017.3.30. THU. – 4.13. THU (展覧会オープニング: 3.30. THU. 19:00-)

ミハル・ツィフラージュ、
ヴェロニカ・リフトロヴァー展覧会

Michal Cihlár, Veronika Richterová



ツィフラージュは、現代チェコのリノリウム版画の先駆者といえます。カラーリノリウム版画は、彼の創作活動（書籍カバーデザイン、タイポグラフィ、新聞掲載イラスト、デザイン壁紙、ポスター、CDカバーなど）のすべての分野に使われています。並行して、伝統工芸作品や、リアリズムとポップアートを表現するために自由な色使いでのリノリウム版画の制作も行っています。彼はまた、コラージュで旅行日記を作成しています。日本の旅行記は87番目になります。リフトロヴァーは彫刻家、画家であり、リサイクルペットボトルを使った作品を制作し、独自の技術を開発しています。彼女の作品は、見たものに美的な体験と、現在の廃棄物に関する問題意識を同時体験させます。世界112カ国の3500個のペットボトルをコレクションしています。現在は、ペットアート美術館の設立に取り組んでいます。ツィフラージュとリフトロヴァーは夫婦であり、作品制作の共同クリエイティブパートナーであり、同時に旅行記を共著する仲間でもあります。（キューバ、カンボジア旅行記はすでに出版されており、現在キューバをアメリカ車で旅行しています）もう一つの共同プロジェクトは、製造からリサイクルへ、リサイクルから芸術の域にまで変化するユニークなデザインのペットボトルの撮影で、コレクションは10年以上に渡ります。来日し、自身の作品を日本で初めて紹介します。

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>【アーティスト詳細（英語）】 Michal Cihlár <http://michalcihlar.com>Veronika Richterová <http://www.veronikarichterova.com/en/>

CONCERT



チェコの少年合唱団ボニファンテス in Japan

Boys choir Bonifantes in Japan

チェコの少年合唱団ボニファンテスは1999年にバルドビツェ市で創立され、4歳から18歳のメンバーが所属しています。チェコ国内にとどまらず、ヨーロッパやアメリカなどの様々な国で活発に演奏活動していますが、来日は今回が初めてです。演奏会以外はいくつかの学校を訪問し、交流やミニ演奏会も予定しています。

2017.4.17. MON. 19:00- チェコ大使館 大ホール（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

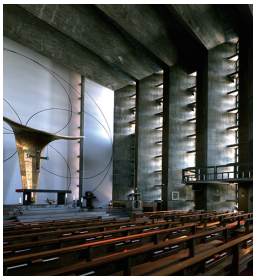
2017.4.23. SUN. 14:00- 東部フレンドホール 主催：江戸川ホームステイクラブ

江戸川の青少年合唱団も出演し、Bonifantesとのジョイントコンサートになります。

【連絡先】ICEC国際文化交流センター 担当：柴田佐和子 TEL 03-5754-1138 www.bonifantes.cz【アーティスト詳細（英語）】<http://en.bonifantes.cz/>

EXHIBITION

2017.4.17. MON. – 5.31. WED (展覧会オープニング: 4.14.FRI. 19:00-)



7 X アントニン・レーモンド 展覧会

7 X ANTONÍN RAYMOND

著名な建築家であるアントニン・レーモンドの遺作紹介
チェコ生まれの建築家、アントニン・レーモンドは日本の近代建築に大きく貢献し、多くの日本の建築家に影響を与えました。彼が日本国内に残した数々の遺作を紹介する本展は、2015年にプラハのヤロスラフ・フラグネル・建築専門ギャラリーで開催され、現地でも話題となりました。プラハに引き続き、日本でも下記の日程で開催されます。本展のキュレーターはチェコの著名な建築家ダヴィッド・ヴァーヴラ氏と研究家のイレナ・ヴェヴェルコヴァー氏です。

共催：ヤロスラフ・フラグネル・ギャラリー、チェコセンター東京、アントニン・レーモンド設計事務所

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>【プロジェクト詳細（英語）】http://www.gjf.cz/archiv/antonin-raymond-7/?lang_code=en

TALK SESSION

2017.4.14. FRI. / 4.21. FRI. / 5.19. FRI. / 5.26. FRI. / 6.9. FRI. いずれも19:00-

連続トークセッション 5x アントニン・レーモンド クローズアップ

5 x Antonin Raymond

建築家アントニン・レーモンド（1888-1976）の作品と彼の人生にはチェコ国内でも関心が集まっています。レーモンドの作品は現代に至るまで、建築関係者の研究対象となり、キュレーター達に展覧会へのインスピレーションを与え続けています。日本における文化年の枠組みの一つとして、チェコセンター東京では、芸術家レーモンドを全く違った、より親密で、ユニークな視点から切り取ります。彼に想い入れのある日本人建築家たちの目から足跡をたどります。5回にわたって行われる予定の講演会は、レーモンドと共に働いた建築家たちのとの特別な出会いの場となるでしょう。また、戦後の設計所の創作に対する、新しいものの見方や、日本の50年代、60年代、70年代の建築の試行の新たな視点を提供します。モデレーターは、早稲田大学のヘレナ・チャブコヴァー博士と、チェコ蔵主宰のベトル・ホリー氏が行います。

プラハ、ヤロスラフ・フラグネル・ギャラリー 協力

チェコ共和国大使館 映写室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

EXHIBITION

2017.4.22. SAT. – 5.28. SUN.

「アルフォンス・ミュシャ展」酒田市美術館

Alfons Mucha in Sakata city Museum of Art

アール・ヌーヴォーの旗手として、その名を美術史に残したアルフォンス・ミュシャ（チェコ語でムハ）の展覧会。ポスターや室内装飾パネルなどの代表的な作品をはじめ、挿絵作家としての作品、装飾資料集、商品パッケージ、カレンダー、ポストカードのほか祖国チェコで手掛けた切手や紙幣など、初公開の資料を含む約400点を紹介。フランス・アメリカ・チェコへと拠点を移して活躍した50年の画業をたどりながら、ミュシャの全容に迫ります。数年をかけて日本全国を巡回予定。

酒田市美術館（山形県酒田市宮野浦字飯森山西17-95）

【問合せ】TEL 0234-31-0095 【HP】<http://www.sakata-art-museum.jp/>

CONCERT

2017年5月中旬予定

プラハの春音楽祭 記念コンサート

Alfons Mucha in Sakata city Museum of Art

プラハの春国際音楽祭の開始と合わせ、チェコ大使館にて、コンサートを開催予定です。詳細は下記HPに順次掲載します。

チェコ共和国大使館 大ホール（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

FILM

2017年5月下旬～6月予定

EU フィルムデーズ

EU Film Days

EUフィルムデーズにチェコ映画が参加予定。詳細は下記HPをご参照ください。

【HP】<http://www.momat.go.jp/fc/>

東京国立近代美術館フィルムセンター（東京都中央区京橋3-7-6）【問合せ】TEL 03-5777-8600

京都府京都文化博物館（京都市中京区三条高倉）【問合せ】TEL 075-222-0888

PHOTO EXHIBITION

2017.6.7. WED. – 6.30. FRI.



マルチン・フラジーク 写真展 -Japan Everyday-

Martin Hladik – Japan Everyday-

カメラマン・写真家である、マルチン・フラジークは2000年に来日し、現在まで東京で生活、制作をしています。外国記者クラブの写真部門として日本の政治的、文化的なテーマを撮り続けてきました。彼の作品は見る者に日本社会へ鋭い洞察を促します。個人的な作品としては、常に変化する東京に住む人たちの生活がテーマになっています。また、彼が長年携わってきたテーマの一つに、日本の伝統的な入れ墨があります。浅草の彫師に密着し、芸術的に撮影した彼の作品集『Traditional Tatoo in Japan-HORIKAZU-』は高く評価されました。当展覧会は、17年間の日本滞在を経て、チェコに帰国予定である彼の日本での集大成となります。

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）

【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>【アーティスト詳細（英語）】 <http://www.martinhladik.com/>

CONCERT

2017.6.14. WED. 19:00



プラハ・グアルネリ・トリオ

Guarneri Trio Prague

1986年にチェネック・パブリーク（ヴァイオリン）、マレク・イエリエ（チェロ）、イヴァン・クランスキー（ピアノ）の3人で結成。以来、数々の国際音楽祭や名だたる音楽ホールで聴衆を虜にしてきました。ヨーロッパでは放送出演やレコーディングも多くあります。トリオ名は弦楽器奏者の使用楽器に由来します。チェネック・パブリークはグアルネリ・デル・ジェスの1735年製“ジンバリスト”、マレク・イエリエはアンドレア・グアルネリ1684年製のチェロを奏でます。2016年には結成当初のメンバーで30周年を迎え、お互いを思いやる豊かな人間性から生まれる音色には比類なき品格が漂います。母国の巨匠ドヴォルザークの《ドゥムキー》では、表現力の深さで他を寄せ付けません。

主催：朝日新聞社

福岡シンフォニーホール（福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号）
【問合せ】アクロス福岡チケットセンター TEL 092-725-9112
【アーティスト詳細（英語）】 <http://www.guarneritrioprague.com/en-first.html>

EXHIBITION

2017.6.16. SUN. - 8.21. MON.

ーチャペックからチェコ・コミックまでー
東欧の絵本大国「チェコ絵本をめぐる旅」

Trip to Czech Picture Books - From Capek to the latest Comics-

どこか懐かしさを感じさせる手作り感と、洗練されたデザインで人気を集めるチェコの絵本。

本展では、絵本原画やリトグラフ、絵コンテ、デッサン、制作過程の資料などを通して、草創期の巨匠から、ミハエラ・クコヴィチョヴァー、アルジュビータ・スカーロヴァーなど近年チェコで注目を集めている最新鋭の作家、さらに出久根育、関美穂子など、日本の作家によるチェコ絵本の作品を含めて、その幅広く奥深い魅力をご紹介します。

岡谷市 日本童画美術館 イルフ童画館（長野県岡谷市中央町2-2-1）
【問合せ】TEL 0266-24-3319 【HP】<http://www.ilf.jp/>

Michaela Kukovičová, This is Prague © Michaela Kukovičová / baobab, 2015
Alžběta Skálová, Rostlinopis aneb Podivuhodné pravdy a výmysly ze zeleného světa
© Alžběta Skálová / baobab, 2012



EXHIBITION

2017.7.7. FRI. - 8.31. THU.



「チェコの人形劇の3つの顔」展

Czech puppets in 3 different ways

チェコ人形劇の豊かな伝統と今日の多彩な状況を手短に、かつ重要な点を抑えつつ紹介します。人形劇はチェコの文化に独特な現象であり、世界中の観客を楽しませています。歴史における発展、戦後の変化、そして人形劇技術にそれぞれ焦点を当てた3つのセクションから、チェコ人形劇の多様な時期の概観が浮かび上がります。不思議な3つの箱によって、移動公演を行っていた時代や人気を博した一族による人形劇団の時代の様子を窺い知ることができ、大きな影響力のあった劇公演や劇団から出てきた有名な人形造形作家について知ることでもできるでしょう。

また、ブラックシアターという潮流と現代の舞台装置についての展示もご覧いただけます。展覧会の終わりまで辿り着くことができれば、観覧者自身も参加できるセクションが待っています。そこでは、童話の登場人物など様々な技術を用いた人形に触れ合い、自分で操ってみることもできるのです。

協力：Arts and Theatre Institute Prague www.idu.cz/en/

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）
【問合せ】TEL 03-3400-8129
【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>



EXHIBITION

2017.7.15. SAT. - 9.24. SUN.

「アルフォンス・ミュシャ展」佐川美術館

Alfonse Mucha Sagawa Art Museum

アール・ヌーヴォーの旗手として、その名を美術史に残したアルフォンス・ミュシャ（チェコ語でムハ）の展覧会。ポスターや室内装飾パネルなどの代表的な作品をはじめ、挿絵作家としての作品、装飾資料集、商品パッケージ、カレンダー、ポストカードのほか祖国チェコで手掛けた切手や紙幣など、初公開の資料を含む約400点を紹介。フランス・アメリカ・チェコへと拠点を移して活躍した50年の画業をたどりながら、ミュシャの全容に迫ります。数年をかけて日本全国を巡回予定。

佐川美術館（滋賀県守山市水保町北川2891）
【問合せ】TEL 077-585-7800 【HP】<http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/>

EXHIBITION

2017.9.15. FRI. - 10.13. FRI.

「ハンドメイド・ドリームス」
チェコのファッションジュエリー展

HAND MADE DREAMS—Czech Jewellery Exhibition—

最新トレンドのチェコのファッションジュエリーの展覧会-伝統的な模様からインスピレーションを受けた作品や、若手のクリエイターによる今のトレンドの作品などをご紹介します。キュレーター：ペトル・ノヴィー

チェコセンター東京展示室（東京都渋谷区広尾2-16-14）
【問合せ】TEL 03-3400-8129 【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

PUPPET SHOW

2017.9.28. THU. - 10.1. SUN.

人形劇「ゴーレム」

Golem

日本とチェコの親善公演、人形劇「ゴーレム」が上演されます。日本とチェコは異なる文化圏にありながら、どちらも優れた人形劇の伝統文化を育んできました。今回、両国のアーティストたちが集い、作った人間の命令だけを聞くという泥人形「ゴーレム」の伝説を題材に、共同公演を行います。

企 画：結城一糸 制作：糸あやつり人形「一糸座」
演 出：天野天街（少年王者館）、ソヤ・ミコトバー（チェコ）
人形師：糸あやつり人形一糸座、プリショペーボ・メドビードカ劇団（チェコ）

座・高円寺（杉並区高円寺北2-1-2）
【問合せ】TEL 03-3223-7500 【HP】<http://za-koenji.jp/guide/>

EXHIBITION

2017.9.29. FRI. - 2018.1.29. MON.



チェコ・コミックの100年

„100 years of Czech Comics“

近年チェコでは、絵本の中にマンガの手法を取り入れる試みが見られるようになりました。日本のマンガだけではなくアメリカのコミックの影響や、チェコでの翻訳出版が進んでいるフランスのバンド・デジネとの交流の中から、絵本にコマワリが用いられ、あるいは名作がマンガ的で劇的な挿絵をつけて出版されるなど、新しい潮流として浸透してきています。本展では、コミック雑誌やアルバム、原画、創作過程の資料などにより、現在、多様な発展を遂げているチェコ・コミックの源流を辿りながら、約100年にわたる歴史を振り返って紹介し、チェコ・コミックを総覧する初めての展示となります。

監修：パヴェル・コジーネク、他 企画協力：株式会社イデップ

明治大学 米沢嘉博記念図書館
【問合せ】TEL 03-3296-4554
【HP】http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/

Pavel Cech, Dědečkové ©Pavel Cech, 2011
Pavel Cech, Velké dobrodružství Pepíka Střechy ©Pavel Cech, 2012



CONCERT

2017.9.30. SAT. - 10.9. MON.



チェコフィルハーモニーオーケストラ 日本公演ツアー

Czech Philharmonic Orchestra on tour in Japan

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団は長年にわたり来日公演を行っています。設立以来、オーケストラは日本の主要都市で合計350回の演奏を行いました。2017年はジー・ピエロフラーヴェクの指揮で、東京のサントリーホール、大阪シンフォニーホールなどでの公演が予定されています。プログラムチェコの作曲家アントニン・ドヴォジャークの「交響曲第9番 新世界より」や、ベドジフ・スメタナの「わが祖国」などを演奏予定。フランスのチェリスト、ジャン＝ギアン・ケラスケラスとドイツ人と日本人の両親をもつ現在25歳のピアニスト、アリス＝紗良・オットを迎える予定です。

※詳しい日程はHPにてご確認ください。

【アーティスト詳細（英語）】 <http://www.ceskafilharmonie.cz/en/>

EXHIBITION

2017.10.20. FRI. - 11.22. WED.



ヴァーツラフ・フィアラ絵画展

Václav Fiala- Ogasawara and other Japanese inspiration

画家、グラフィックデザイナー、イラストレーターである、ヴァーツラフ・フィアラ(1896 - 1980)は前衛的芸術家であり、ロシアの未来派の創設者、デビッド・ブルリウクのもと、世界美術史の助手として働き始めました。チェコスロヴァキアに帰国後、マックス・シュヴァピンスキーの美術アカデミーで学びました。スロヴァキアとウクライナ国境周辺を旅行し、そこで見た景色は、彼にとってイラストのインスピレーションとなり、文学作品などの広い範囲でグラフィックデザイナーとして活動するようになりました。1920年代初め、他のアーティストや、ブルリウクの家族と共にフィアラは日本を訪れました。滞在中、指導者の下でいくつかの作品を作成しました。2年間の集中的な制作は両作家の人生のインスピレーションとなりました。フィアラの個人所蔵コレクションは1920年代の日本や当時の日本人未来派アーティストとの接触も興味深く物語ります。チェコセンター東京での展覧会は、フィアラの作品をロシア未来派、特に日本未来派との関係を合わせて日本で初めてご紹介いたします。

チェコセンター東京展示室 (東京都渋谷区広尾2-16-14)
【問合せ】TEL 03-3400-8129
【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>

【アーティスト詳細（チェコ語）】
[https://cs.wikipedia.org/wiki/V%C3%A1clav_Fiala_\(ilustr%C3%A1tor\)](https://cs.wikipedia.org/wiki/V%C3%A1clav_Fiala_(ilustr%C3%A1tor))

WORK SHOP & PRESENTATION

2017年10～11月予定

ペトル・マターセック

『世界最高峰のチェコ人形演劇芸術ワークショップ』（仮題）

Petr Matásek

ペトル・マターセックは、チェコの舞台芸術家であり人形劇から発展させたオブジェクトシアターの創始者のひとりです。フラデッツ・クロヴェーのDRAK人形劇場の舞台芸術家として就任、DAMU（チェコ国立芸術アカデミー）劇場学部人形劇学科舞台美術で教鞭をとりながら、世界中でワークショップを展開しています。今回のプロジェクトは、参加者に共同で作業してもらい、様々な方角から人形劇の創造空間の可能性を探ってもらう企画です。最終日に舞台およびギャラリー等で発表。

講師：ペトル・マターセック（舞台美術家）、林 由未(舞台人形美術家) チェコ在住
募集対象：俳優・ダンサー・歌手・美術家・プロデューサー・ジャーナリスト等

シアターX（東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア内）
【問合せ】TEL 03-5624-1181

詳細はHPをご覧ください。
【HP】<http://www.theaterx.jp/>

【アーティスト詳細（チェコ語）】<http://www.petrmatasek.cz/ramy.html>

EXHIBITION



ジュゼッペ・アルチンボルド
《ウェルトゥムヌス（ルドルフ2世）》
1591年、油彩・板、スコークロステル城
(スウェーデン) Skokloster Castle, Sweden

「ルドルフ2世の綺想の帝国」展(仮称)

The Empire of Imaginary and Science of Rudolf

ブラハに宮廷を構え、神聖ローマ帝国皇帝として君臨したハプスブルク家のルドルフ2世（1552～1612年）は、稀代の収集家として、また芸術の庇護者として知られています。16世紀末から17世紀初頭、彼の宮廷には世界各地から優れた人物たちが集結し、芸術作品、あるいは科学機器などのあらゆる優れた創作物、更には新たに発見された珍奇な自然物などが集められ、文字通り「驚異の部屋」とでも呼ぶべき膨大なコレクションが形成され、当時のヨーロッパの芸術文化の一大拠点となりました。本展ではジュゼッペ・アルチンボルドを初め、ルドルフ2世が愛好した芸術家たちの作品を中心に、占星術や錬金術にも強い関心を示した皇帝の、時に魔術的とも言える魅力に満ちた創造と科学の世界をご紹介します。ブラハ国立美術館より版画、油彩を貸し出し予定。
【ブラハ国立美術館】 www.ngprague.cz/en/

ヨーロッパ側監修：アラン・タビエ氏（元リール美術館館長）
日本側監修：木島俊介（Bunkamuraザ・ミュージアム、プロデューサー）

2017.11.3. FRI. - 12.24. SUN. 福岡市博物館（福岡市早良区百道浜3丁目1-1）
【問合せ】TEL 092-845-5011 【HP】<http://museum.city.fukuoka.jp/>
主催：福岡市博物館、テレビ西日本、西日本新聞

2018.1.6. SAT. - 3.11. SUN. Bunkamura ザ・ミュージアム（東京都渋谷区道玄坂2-24-1）
【問合せ】TEL 03-3477-9111 【HP】<http://www.bunkamura.co.jp/museum/> 主催：Bunkamura

2018.3.21. WED. - 5.27. SUN. 佐川美術館（滋賀県守山市水保町北川2891）
【問合せ】TEL 077-585-7800 【HP】<http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/> 主催：佐川美術館

COMPETITION

2017年11月予定

チェコ音楽コンクール

Czech Music Competition

中欧の宝石と言われているブラハで毎年春に開催される「ブラハの春国際音楽祭」は音楽関係者やファンの関心の高いものとなっております。東京では秋に大使館で「チェコ音楽コンクール」を開催し本年で15年目を迎えます。課題曲はスメタナドヴォルジャーク、ヤナーチェク他の作品よりヴァイオリンと声楽（オペラの Aria と歌曲）を演奏します。2017年は特にチェコ文化年であり"チェコ音楽コンクール2017"も応募される方達のために充実したコンクールにと実行委員一同努力致しております。

チェコ音楽コンクール実行委員会 代表：匂坂恭子

募集要項・申し込み方法など、詳細は下記HPをご参照下さい。
【問合せ】<http://czechmusic.a.la9.jp/index.html>

CONCERT

2017年11月予定

第26回 国際音楽祭<ヤング・プラハ> コンサート 日本公演

Concert of the 26 th International Music Festival Young Praha in Japan

国際音楽祭ヤング・プラハは1992年、世界の若手音楽家の育成と若者の国際交流をテーマにスタートしました。第1回音楽祭以来、32カ国から才能豊かな若者達がクラシック音楽の息づく街プラハやチェコ各地に集い、音楽の祭典を繰り上げてきました。音楽祭は数々の困難を乗り越え、日本企業を中心としたスポンサーの温かいご支援、日本・チェコ両国の実行委員の献身的な活動、関係者のご協力により、1年も途切れることなく続いてきました。 詳細は右記HPをご参照ください。【問合せ】<http://www.youngpraha.jp/>

・在日チェコ大使館レセプションホール
出演：Belfiato Quintet 他 主催：国際音楽祭<ヤング・プラハ>日本委員会

・横浜市緑区民文化センター みどりアートパーク
カデジナ ヤヴールコヴァー ホルンリサイタル
出演：カデジナ ヤヴールコヴァー Kateřina Javůrková 他 主催：横浜市緑区民文化センター

・「Autumn Festa 2017」 TECHNOL CONVENTION CENTER “Hosoda Hall”（茨城県大洗町）
出演：Belfiato Quintet 主催：株式会社 千代田テクノル

・スタニスラフ フィンダ ビッコロマスタークラスとビッコロ調整会 銀座 山野楽器 5 階管楽器フロア
主催：山野楽器本店 フルーツサロ

チェコ映画フェスティバル

「国交回復60周年チェコ文化年　チェコ映画の全貌(仮)」

Czech Film Festival

チェコの無声映画からヌーヴェルヴァーグ以降の作品までを上映

1. 「シネマの冒険　闇と音楽」 (仮題) サイレント映画を伴奏つきで上映。

時期：2017年秋　1週間　1日2回上映

2. 「チェコ映画祭<1920-1970年代>」 (仮題) 24プログラムにて上映

時期：2017年秋　4週間　1日2回上映　チェコのNational Film Archiveと共催

東京国立近代美術館フィルムセンター(東京都中央区京橋3-7-6) 【問合せ】TEL 03-5777-8600

引き続き下記の会場でも開催予定。

都国立近代美術館 (京都市左京区岡崎円勝寺町)

福岡市総合図書館フィルムアーカイブ (福岡市早良区百道浜3丁目7番1号) 【問合せ】TEL 092-852-0600

詳細は右記HPをご参照ください。【HP】<http://www.momat.go.jp/fc/>



チェコ・フィルハーモニー八重奏団

Czech Philharmonic Octet

招聘：メロス・アーツ・マネジメント

【問合せ】TEL 03-3358-9005



「チェコの人形劇の3つの顔」展

Czech puppets in 3 different ways

8月にチェコセンターで行われた展覧会が、飯田市に巡回します。本展では、チェコのアニメーション映画の上映も予定されています。貴重な機会をお見逃しなく。

協力：Arts and Theatre Institute Prague　www.idu.cz/en/

飯田市川本喜八郎人形美術館 (長野県飯田市本町1丁目2)

【問合せ】TEL 0265-23-3594



プラハ・バロック合奏団

The Prague Baroque Ensemble

招聘：メロス・アーツ・マネジメント

【問合せ】TEL 03-3358-9005



チェコの城と宮殿の巡回展覧会

Czech castles and palaces

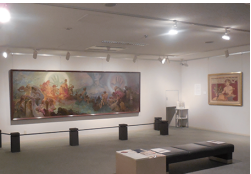
チェコセンター東京、駐日チェコ共和国大使館、チェコ政府観光局、プラハ国立博物館、松江市、小田原市、松本市と協力のもと、チェコの城と宮殿の展覧会を行う予定です。



チェコセンター東京展示室 (東京都渋谷区広尾2-16-14)

【問合せ】TEL 03-3400-8129

【HP】<http://tokyo.czechcentres.cz/>



堺市立文化館内　堺　アルフォンス・ミュシャ館

Sakai Alphonse Mucha Museum

現在のチェコ共和国出身で、19世紀末から20世紀初頭にかけて花開いたアール・ヌーヴォーの旗手として活躍したアルフォンス・ミュシャ。大阪府堺市にある堺　アルフォンス・ミュシャ館では、その初期から晩年にわたる数々の作品を展示しています。堺市が所蔵するミュシャの作品は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏が収集したものを中心に、有名なポスターだけでなく大型の油彩画、堺でしかみることのできない素描や宝飾品など多彩なコレクションです。年3回、ミュシャに関する様々なテーマでその創作活動を展示紹介するとともに、コンサートやワークショップなどの関連イベントも開催し、ミュシャの活動を広く発信しています。

堺市堺区田出井町1-2-200　【問合せ】TEL 072-222-5533

詳細は下記HPをご参照ください。

【HP】<http://mucha.sakai-bunshin.com/index.jsp>

アルフォンス・ミュシャ専門画廊　ぎやらりい自在堂

Mucha Museum Gallery Jizaido

オリジナル石版画をはじめ、挿絵本、油彩、素描、カレンダー等小物類その他工芸品100点以上展示。入場無料。皆様のお越しをお待ちしております。

東京都港区南青山5-13-1　3F

営業時間：12:00-18:00 (火曜・日曜・祝日休廊)

※ご来廊の節には、恐れ入りますがあらかじめご一報くださいませ。

【問合せ】TEL 03-3498-1468　【HP】<http://www.mucha-museum.co.jp/>

*その他、チェコセンター東京では『Czech the Cinema』と題して、チェコ映画上映会が定期的に開催されます。詳しくはチェコセンターのホームページでご確認下さい。

<http://tokyo.czechcentres.cz/>

*掲載の情報は2016年12月現在のものです。変更になることがあります。詳細に関しては、各問合せ先にお問合せください。



SPECIAL WEB SITE OPEN !

『日本におけるチェコ文化年』特別サイトがオープンしました。

下記にアクセスして、最新の情報をご確認ください。



<http://czechculture2017.jp/>

水と生きる SUNTORY

最高にプレミアム。
ザ・プレミアム・モルツ。



The PREMIUM MALT'S



マスターズドリーム
「醸造家の夢」
ついに完成。



忘却の彼方に偲ぶ幻の大廈 そしてその男 美しく

PRIM LEGACY COLLECTION 1 JAN LETZEL

MANUFACTURE
PRIM
1949



© Jiří Hejzlár

チェコ人建築家 ヤン・レツル
1880年4月9日-1925年12月26日
広島のアート建築をはじめ日本の
近代建築に影響を与える設計を
手がけたが、その多くは焼失した。
彼の名も戦火により忘れ去られた。



チェコ唯一の時計メーカー「プリム」のレガシーシリーズ第1弾
没後 90 年を迎えたチェコ人建築家ヤン・レツルの名と同氏の
代表建築であり、竣工から 100 年を経た広島県物産陳列館
(現・原爆ドーム)をシースルーバックに刻印した限定モデル

プリム レガシー コレクション1
ヤン・レツル
自社製手巻ムーブメント Cal.93
316L ステンレススチールケース
ケース直径 38mm 厚さ 12mm
ポセイドンサファイアクリスタル
ネイビークロコダイルストラップ

売上の一部を平和国際交流のために広島平和記念資料館へ寄付いたします。

prim-watch.jp

プリム オフィシャルショップ

銀座：シェルマン 銀座 三越店 03-6228-6911 新宿：イセタンメンズ レジデンス ウォッチ 03-3225-2787
松本：一光堂 0263-33-5537 名古屋：ハタ貴金属 052-661-7462 奈良：小柳時計店 0744-22-3853
大阪：やぶ内時計舗 06-6253-6110

プリム日本正規輸入総代理店

株式会社 プレインズ 〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 Toyo Building 6F TEL 03-6338-7914

ストップ! 未成年飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。お酒はなによりも適量です。

のんだあとはリサイクル。① サントリビール株式会社 <http://suntory.jp/PRIMUM/>



Headquarters: Tokyo 本社: 東京

Czech Branch: Prague, Brno チェコ支店: プラハ、ブルノ

目的

日本国及びチェコ共和国の間における経済関係発展に寄与することを目的とする。

事業内容

- (1) 日本国及びチェコ共和国間の経済交流の促進
- (2) 前項に貢献する資料の収集及び分析 日本国経済の分析及び、動向やダイナミクスの分析、経済共同関係の発展に意味を持つ資料の収集と編集及び出版物の発行
- (3) 第1項の目的を推進する啓蒙活動
- (4) 第1項の目的を達成するための日本国及びチェコ共和国の政府や経済団体への政策活動
- (5) 経済状況や市場環境に関する日本国商工会議所との情報交換及び相互交流の促進
- (6) 日本国の経済団体及び企業に対するチェコ共和国との取引に関する情報の提供
- (7) 日本国及びチェコ共和国間の文化交流の促進
- (8) 第1項及び第7項を促進する為のイベント等の主催
- (9) この定款に定める目的の実現のために必要なその他一切の業務

Members benefits :

- ・ Participation in seminars on business/trade related topics organized by CCCIJ or partner's organization including other Chambers.
- ・ Better access to information about events and briefings held at the Embassy or partner's organization place.
- ・ Better access to information about dedicated directories (business entities from Czech Republic and Japan).
- ・ Media summaries.
- ・ Participation in trade events sponsored by governments of Czech Republic and Japan and organized by CCCIJ.
- ・ As the member of CCCIJ benefits and better conditions for prices of booth creation and exhibition management in Japan.
- ・ European - Japan industry briefings & seminars.
- ・ Promotion of businesses and their products/services in both Czech Republic and Japan.
- ・ Meeting with prominent people engaged in business and trade activities in Japan and Czech Republic.
- ・ Networking & business matching organized or co-organized by CCCIJ.



More Information and Application for CCCIJ Membership please find at our website:

www.cccij.com

Zoner
Photo
Studio

チェコで生まれた All-in-One
フォトタッチソフト

Zoner

Zoner
Photo
Studio 18



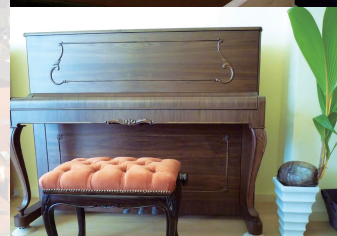
画像編集・管理ソフト
無料ダウンロード: www.zoner.jp



zonerama
無制限写真性能クラウドサービス
www.zonerama.com



今に受け継がれる職人の手作業
どこか懐かしくて温かな響き。
ペトロフは、音楽の国チェコが
誇る老舗ピアノブランドです。



～ピアノ音楽とチェコの魅力をお届けします～

ペトロフピアノ正規代理店 株式会社ピアノプレップ

〒108-0071 東京都港区白金台 2-6-12 青山ビル 101

TEL 03-6721-9613 FAX 03-6721-9612 <http://www.pianoprep.jp/>

We are moving The Czech Republic closer to you!



ブラジエク
ガラス
爪やすり

Blazek's Glas Nail Files

モラヴィア
ワイン

Moravian Wine



ピーアンドエムチェコ(株)は、
現地に精通したチェコ人スタッフが厳選したよい製品を
チェコ共和国より輸入し販売しております。
チェコ製品にご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。
(卸、小売り、web ショップ)

チェコ
ロイヤル
ビール

Czech Royal Beer



マリオネット
木製品など

Marionettes, Wooden Toys etc..



WWW.PM-CZECH.CO.JP

T&F : 0466-28-4849 · info@pm-czech.co.jp

ブラジエクガラス爪やすり日本総代理店
チェコモラヴィアワイン、チェコロイヤルビール
ボヘミアガラス、マリオネット、
木製品などのチェコ製品の輸入卸





気品あふれる
素朴なやさしさ！
チェコに伝わる
藍染めを楽しむ...

ヴィオルカ
Violka

チェコ伝統の藍染め ヴィオルカ Online shop・www.violka.jp

Holík
fashion

HAND MADE QUALITY



we create



チェコ発 健康食品 日本初上陸！！

健康！美容！体の内側からオイルで解決！

チェコから本格派健康食品を日本の皆様にお届けします！

100%天然バージン シード オイルは 健康・美容に効果的
な不飽和脂肪酸(オメガ3・6・9)ビタミン、ミネラルを豊富
に含んでいます。



取り扱い商品:

◎パンブキンシードオイル(かぼちゃ種) ◎ポピーシードオイル(ケシ種) ◎マス
タードシードオイル(辛子種) ◎ヘンブシードオイル(麻種) ◎ウォールナツオ
イル(クルミ) ◎ヘーゼルナツオイル

※1. 各種サイズは100ml/250ml

※2. ヘンブシードオイルのみ250ml

ご注文はWebサイト又はFAXでお願います。

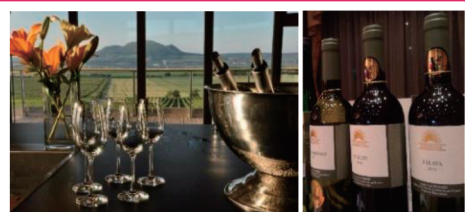
<http://www.initiumworld.com> FAX: 06-4981-1054



日本総代理店
Initium・World インティウム・ワールド
全店 営業
大阪市北区梅田丁目1番1-1000
Tel: 06-6131-7446/Fax: 06-4991-1054
E-mail: info@initiumworld.com



Czech Wine
Treasure of Czech Republic



上質のモラヴィアワインを日本に紹介しています。
ギフト、パーティにもご利用ください。

Pštros
プシトロス

～輸入・卸・小売・通信販売～

<http://pstros.ocnk.net/>

お問い合わせ/ご注文 03-3664-8425

E-mail: czechbeer@pstros.ocnk.net

未成年者への販売はいたしません。お酒は20歳になってから。

